

10. 医療に対する意識について

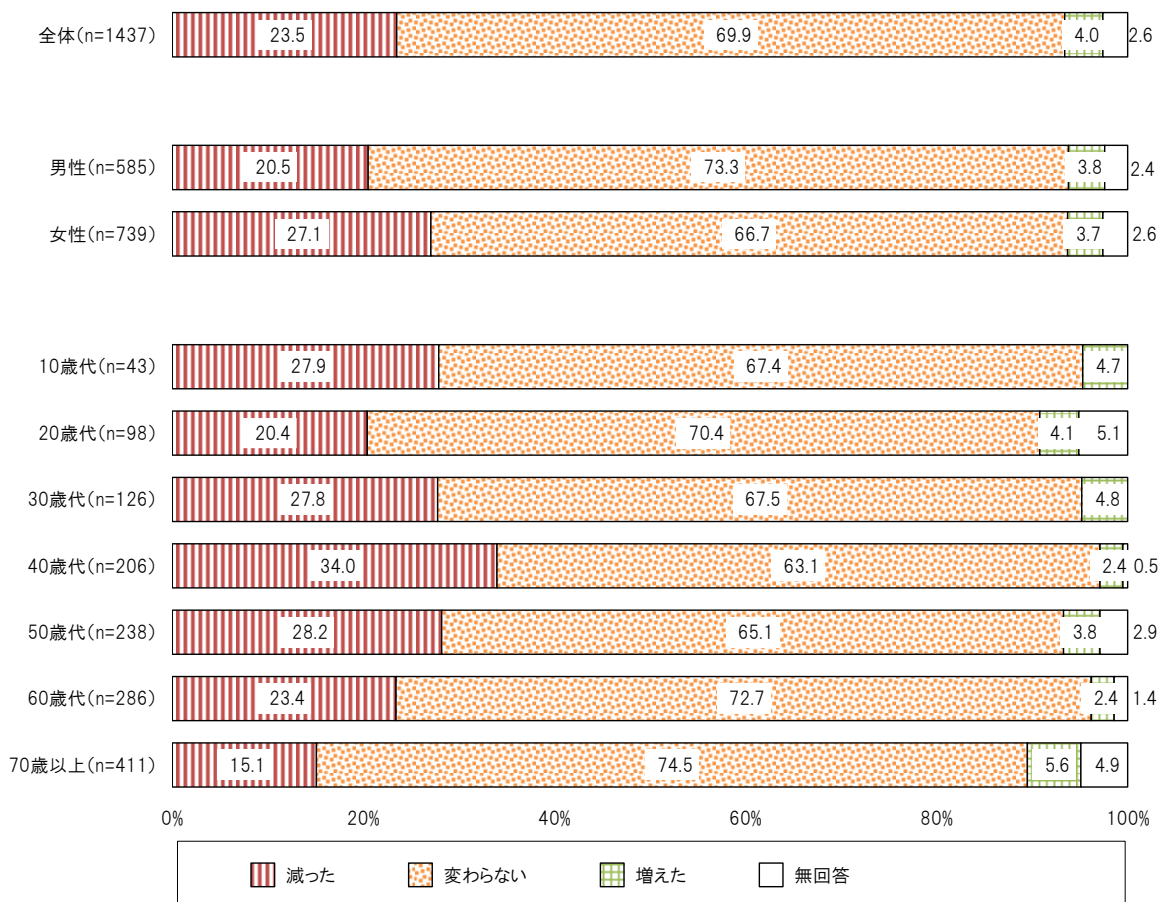
問 39 この2年間、国内においても新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、外出の自粛等を求められた時期がありました。あなた自身は、地域の病院（済生会松阪総合病院、松阪市民病院、松阪中央総合病院などを除く）や診療所への受診はコロナ前と比べてどうなりましたか。（〇は1つだけ）

全体では「変わらない」が69.9%で最も高く、ついで「減った」が23.5%、「増えた」が4.0%となっている。

性別にみると、「減った」の割合は、男性が20.5%、女性が27.1%で女性の方が男性より6.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「減った」の割合は、40歳代で34.0%と最も高く、次いで50歳代で28.2%となっている。一方で70歳以上は15.1%で最も低くなっている。

問39 コロナ前と比べ地域の病院や診療所への受診はどうなったか



問 40 問 39 で「1. 減った」と答えた方におうかがいします。

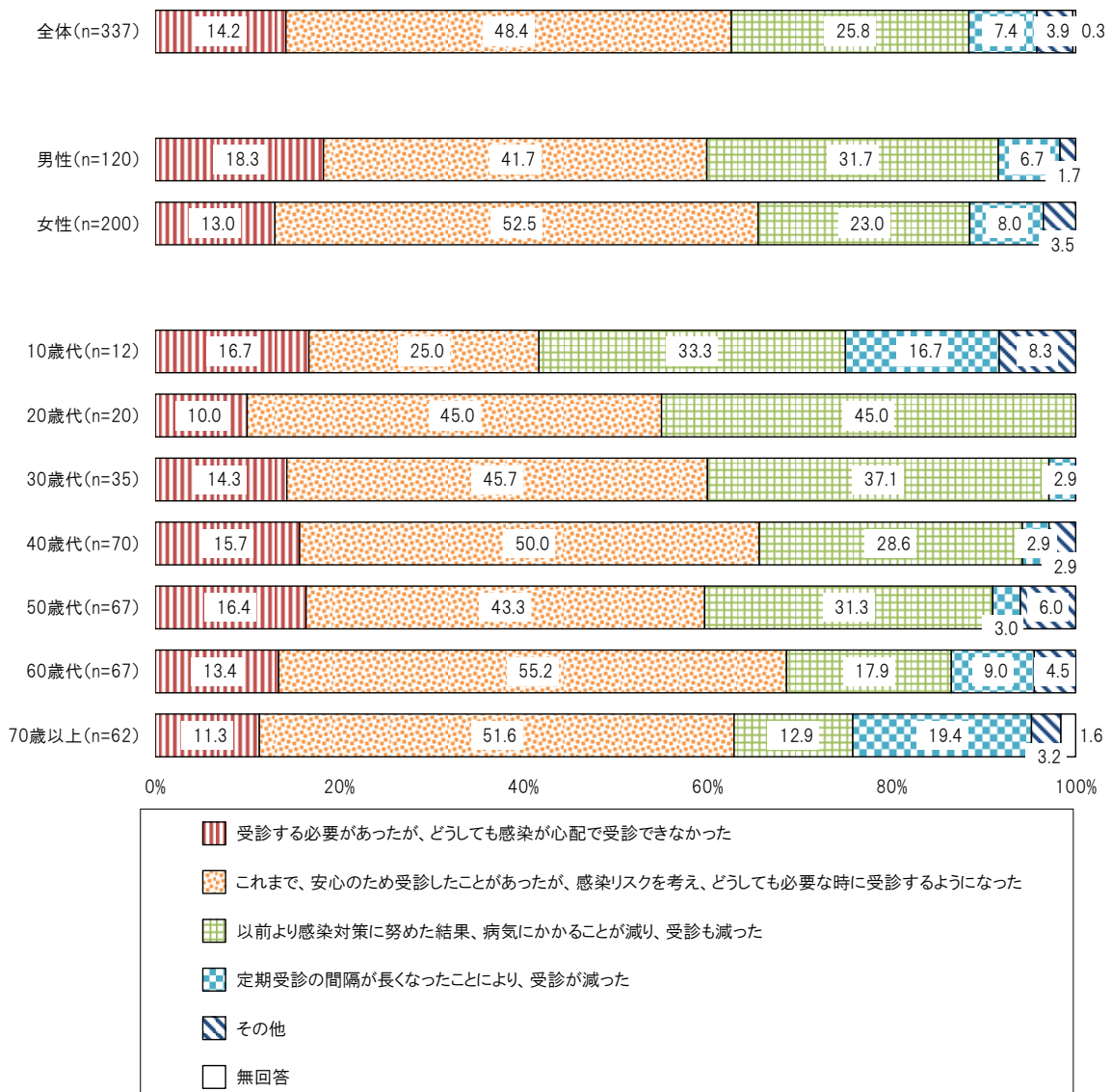
減った理由として、最も近いものを選んでください。(○は1つだけ)

全体では「これまで、安心のため受診したことがあったが、感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった」が 48.4%で最も高く、ついで「以前より感染対策に努めた結果、病気にかかることが減り、受診も減った」が 25.8%、「受診する必要があったが、どうしても感染が心配で受診できなかった」が 14.2%となっている。

性別にみると、「これまで、安心のため受診したことがあったが、感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった」の割合は、男性が 41.7%、女性が 52.5%で女性の方が男性より 10.8 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「これまで、安心のため受診したことがあったが、感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった」の割合では、60 歳代が 55.2%と最も高くなっており、ついで 70 歳以上が 51.6%となっている。一方で、10 歳代では 25.0%と最も低くなっている。

問40 地域の病院や診療所への受診が減った理由



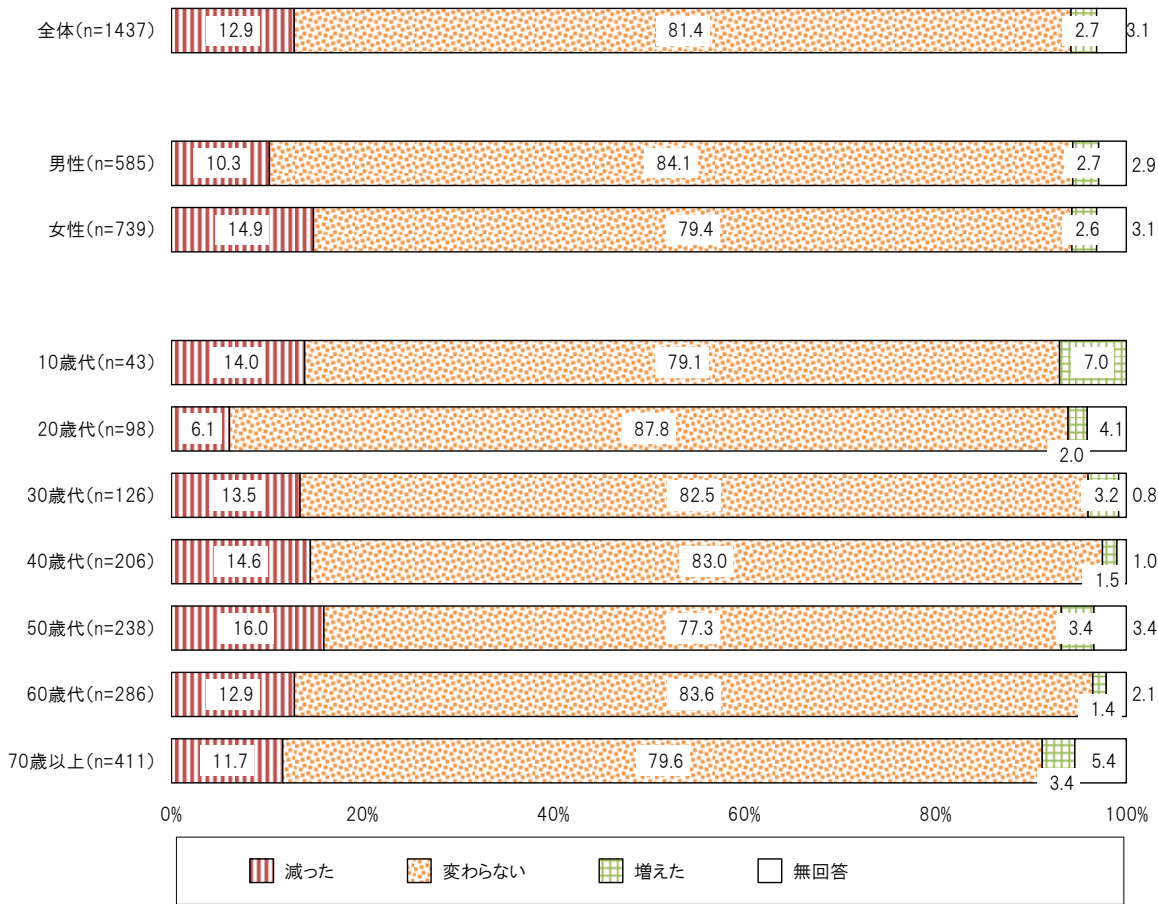
問 41 この2年間、あなた自身は、健康診断、検診等の受診はコロナ前と比べてどうなりましたか。（○は1つだけ）

全体では「変わらない」が81.4%で最も高く、ついで「減った」が12.9%、「増えた」が2.7%となっている。

性別にみると、「減った」の割合は、男性が10.3%、女性が14.9%で女性の方が男性より4.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「減った」の割合は、50歳代で16.0%と最も高く、次いで40歳代で14.6%となっている。一方で20歳代が6.1%で最も低くなっている。

問41 コロナ前と比べ健康診断、健診等の受診はどうなったか



問 42 問 41 で「1. 減った」と答えた方におうかがいします。

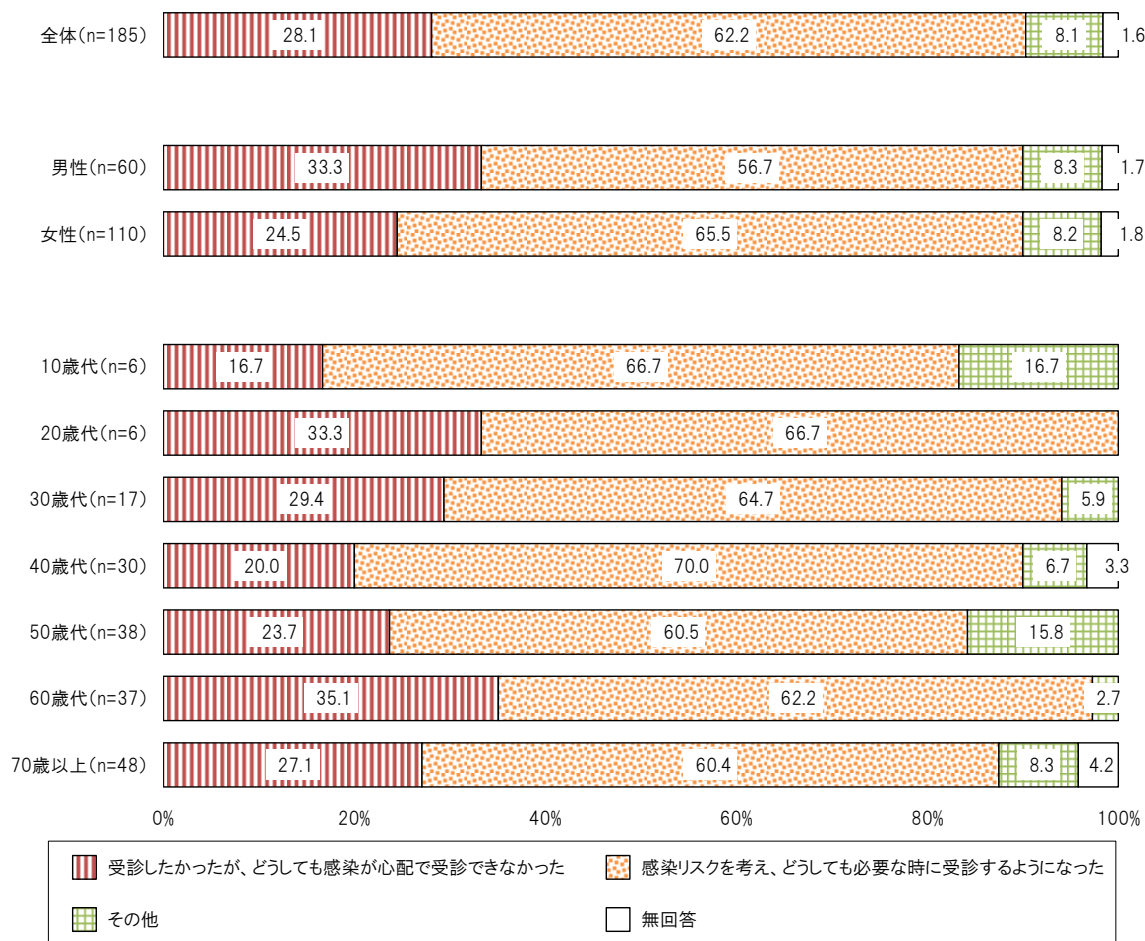
減った理由として、最も近いものを選んでください。(○は1つだけ)

全体では「感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった」が62.2%で最も高く、ついで「受診したかったが、どうしても感染が心配で受診できなかった」が28.1%となっている。

性別にみると、「感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった」の割合は、男性が56.7%、女性が65.5%で女性の方が男性より8.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、「感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった」の割合では、40歳代が70.0%と最も高くなっており、ついで10歳代、20歳代が66.7%となっている。一方で、70歳以上では60.4%と最も低くなっている。

問42 健康診断、健診等の受診が減った理由



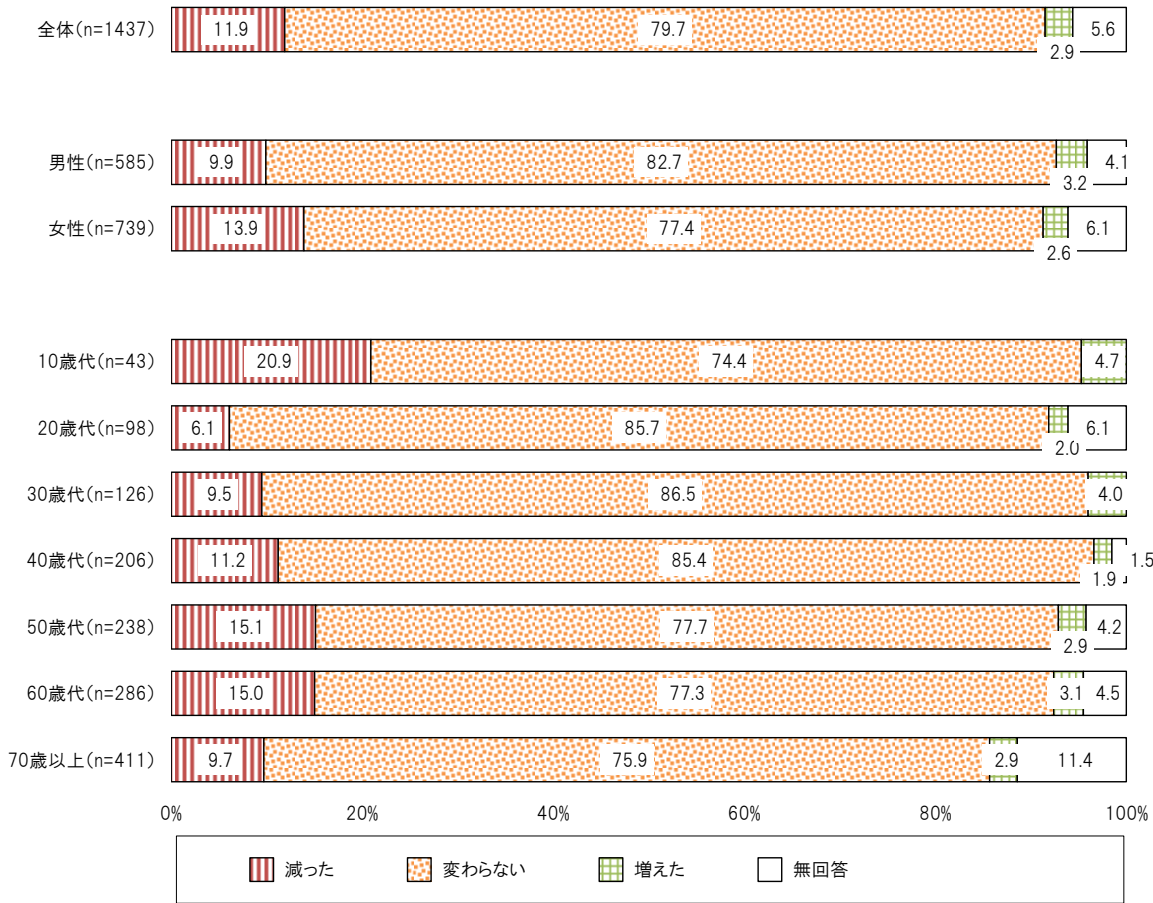
問 43 この2年間、あなた自身は、総合病院への受診はコロナ前と比べてどうなりましたか。（〇は1つだけ）

全体では「変わらない」が79.7%で最も高く、ついで「減った」が11.9%、「増えた」が2.9%となっている。

性別にみると、「減った」の割合は、男性が9.9%、女性が13.9%で女性の方が男性より4.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「減った」の割合は、10歳代で20.9%と最も高く、次いで50歳代で15.1%となっている。一方で20歳代は6.1%で最も低くなっている。

問43 コロナ前と比べ総合病院への受診はどうなったか



問 44 問 43 で「1. 減った」と答えた方におうかがいします。

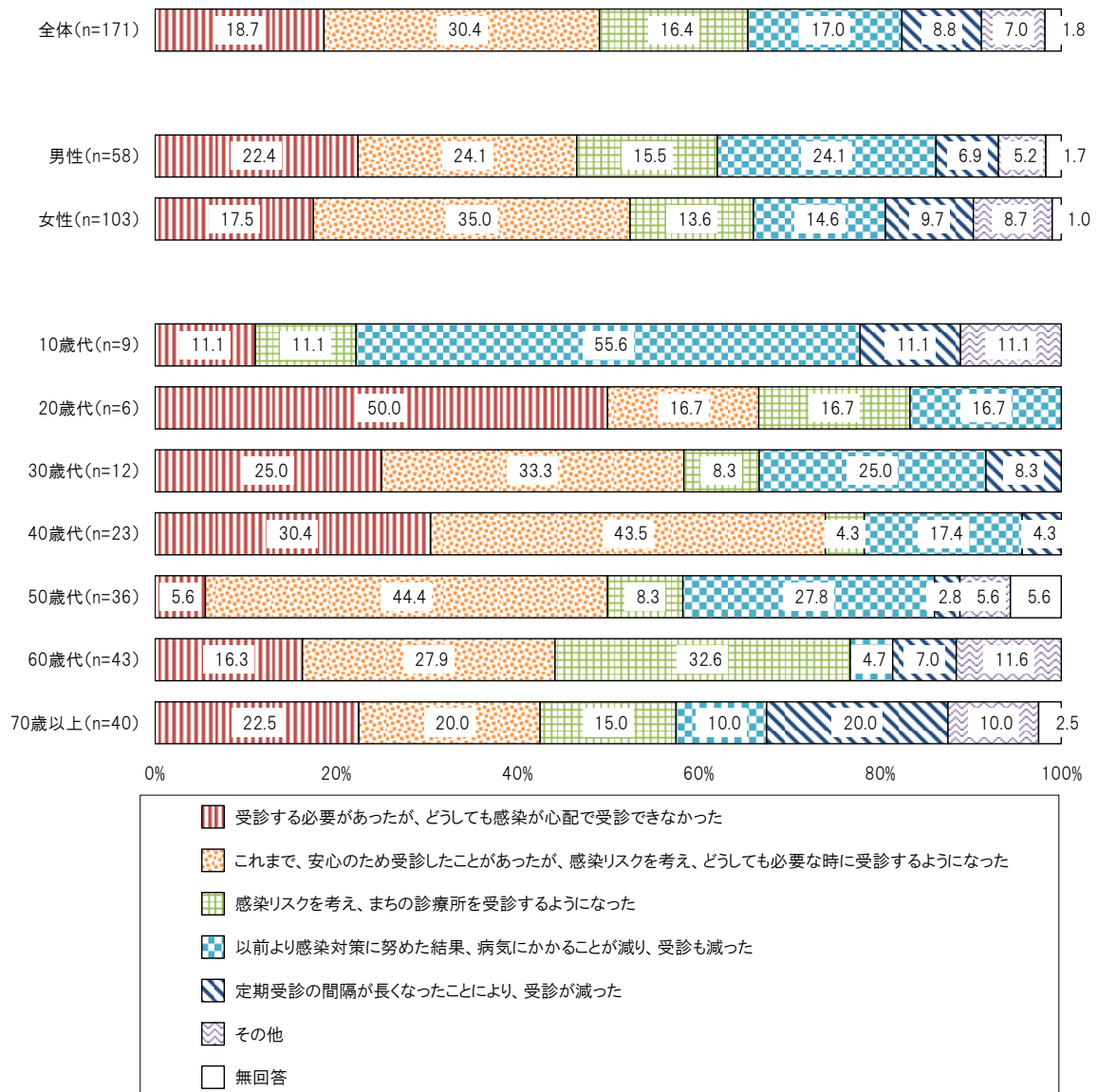
減った理由として、最も近いものを選んでください。(○は1つだけ)

全体では「これまで、安心のため受診したことがあったが、感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった」が 30.4%で最も高く、ついで「受診する必要があったが、どうしても感染が心配で受診できなかった」が 18.7%、「以前より感染対策に努めた結果、病気にかかることが減り、受診も減った」が 17.0%となっている。

性別にみると、「これまで、安心のため受診したことがあったが、感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった」の割合は、男性が 24.1%、女性が 35.0%で女性の方が男性より 10.9 ポイント高くなっている。

年代別にみると、各年代で最も多かった項目は、30 歳代、40 歳代、50 歳代は「これまで、安心のため受診したことがあったが、感染リスクを考え、どうしても必要な時に受診するようになった」、20 歳代、70 歳以上は「受診する必要があったが、どうしても感染が心配で受診できなかった」、10 歳代は「以前より感染対策に努めた結果、病気にかかることが減り、受診も減った」、60 歳代は「感染リスクを考え、まちの診療所を受診するようになった」となっている。

問44 総合病院への受診が減った理由



問 45 新型コロナウイルス感染症が終息したら、医療機関（まちの診療所や総合病院）あるいは健康診断（検診などを含む）への受診をどうしますか。（○は1つだけ）

全体では「今の受診状況から特に増えることもなく、別に変わらないと思う」が53.4%で最も高く、ついで「医療機関も健康診断も、以前のように積極的に受診を再開したい」が26.7%、「医療機関だけは、以前のように積極的に受診を再開したい」が7.4%となっている。

性別にみると、いずれの項目も男女間での差は小さく、傾向の違いはあまりみられない。年代別にみると、「今の受診状況から特に増えることもなく、別に変わらないと思う」の割合では、10歳代で65.1%と最も高く、次いで30歳代で61.9%となっている。一方で70歳以上は46.7%で最も低くなっている。

問45 コロナが終息したら医療機関や健康診断への受診をどうするか

